

九州・沖縄地区の8月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比1.7%減、熊本県は19.8%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた8年度月別・地区別出荷実績によると、8月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比1.7%減の合計5万4千3百820m³。

8月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比11.2%増の2万1千5百603m³、「佐賀県」同4.5%減の1万8千832m³、「長崎県」同1.5%減の4万1千828m³、「熊本県」同19.8%増の9万1千965m³、「大分県」25.2%減の3万8千160m³、「鹿児島県」同0.7%減の6万2千176m³、「沖縄県」同29.4%減の7万5千256m³。福岡県、熊本県が増加している。

8年度累計では、「福岡県」が前年度比8.7%増の11万5千1百411m³、「佐賀県」同25.6%減の9万6千233m³、「長崎県」同15.7%減の2万2千7百345m³、「熊本県」同6.8%減の4万4千1百748m³、「大分県」23.9%減の2万3千2百137m³、「鹿児島県」同7.9%減の3万3千905m³、「沖縄県」同14.4%減の4万7千5百810m³。福岡県が好調に推移している。